



3月20日春彼岸法要に併せ永代供養増設完成の法要を行いました

しぎやげ

第 147 号
(令和 8 . 7 . 1)
信 楽 寺

〒690-0052
松江市堅町 88
TEL (0852) 21-1589
FAX (0852) 21-1590
郵便振替口座番号
01450-3-13538
山陰合同銀行 本店営業部
普通預金 No. 3147251
宗教法人 信楽寺
代表役員 内田広平



お寺の様子をご覧下さい。



HP



Instagram



LINE

法然上人
浄土宗
開宗852年
お念佛からはじまる幸せ

お盆前

信楽寺墓地 一斉清掃
松尾町墓地

8月2日(日) 午前6時 信楽寺本堂にておつとめ

午前6時半より清掃

※冷たい牛乳を用意しております。

墓地をきれいにしてお先祖様をお迎えしましょう。

掃除道具をご用意下さい。

暑い中ですが宜しくお願いします。

お盆のおつとめ(棚経)について七頁下段をご覧ください
日にちの変更などご連絡下さい

ぼんせがきほうよう
盆施餓鬼法要 ご案内

令和8年8月4日(火) 午前10時より

今年初盆を迎える仏様を皆さんでご回向しましょう。
ご自身のご先祖様を供養する為にも是非お参り下さい。

10時00分～11時00分 法要
11時00分～11時20分 挨拶

終了・解散

※お袈裟・お数珠をお持ちの方は携帯下さい。

※服装は普段着で結構です。

※初盆のご家庭は是非お参り下さい。

※初盆のご家庭に限り、何人でのお参りかお知らせ下さい。

※同封封筒にてご回向申し込み下さい。

※マスクは各自の判断に委ねます。

困った事があつたらお念仏を

住職

内田 広平



「困った事があつたら、風に向かつて俺の名を呼べ」あの「男はつらいよ」での寅さんの台詞です。「南無阿弥陀仏」のお念仏こそ阿弥陀仏様の名前を呼ぶことです。困った事、つらい事があつたとしたら、阿弥陀仏様と共に一緒に居る先立つた人々に届くようにお念仏をお称えしましょう。

今は合理性、効率性がより叫ばれる時代、AIの技術は日進月歩に進化して、AI自身が学習して競争は激しくなるばかりです。もう我々人間がする仕事をかなりの量、代わってする時代、本当に私達の暮らしは便利に豊になったと言えるのでしょうか。

今にAIが勝手にこの世のシステムを作り、人間が置いてきぼりになる時代がすでに来ているのかもしれない。

だからこそ私は「男はつらいよ」で寅さんの人情味あふれた、お節介が過ぎるほどの情の深さに涙こぼれるのだと思います。

我々宗教家さえおちおちしておられない、AIが神、仏に代わって皆さんの困りごと悩みに答えてくれる時代です。

でも死後の世界、「あの世」の世界に関しては、いくらAIでも正解を出すことは無理なのではないかと思えます。

人間死んだらどうなるのか、本来にあの世、西方極楽という仏の世界は存在するのか。これからのAIの進化を見ながら観察していきたいと思えます。

先般あるお檀家のご婦人が連れ合いを病気でなくされるその時に、ご主人が「わしは病気で亡くなる事を一つも怖いとか、不安な気持ちには寸分もない。阿弥陀さんや沢山の知り合いが極楽で待っていてくれるから。」と言われた時に、腹が立ってご主人を叱ってしまった。と、7回忌も終わられて、何故あのときにご主人に腹を立ててしまったのかと反省しておられました。ご夫婦の2人だけの関係性に割って入るつもりはありません。

が、ご主人とすれば残される奥様に少しでも不安な気持ち、心配を掛けないように、という気持ちもあつたかもしれませんし、奥様には、「自分だけ悟った様な気持ちで旅立つなんて、残される私の気持ちはどうなるのよ」とご主人を叱られた気持ちも分かります。いずれにしても我々には単に合理性・効率性だけで

は計り知れない、人間の日々の機微を積み重ねて情の世界に生きている私達だからこそ死後の世界、あの世の世界についてAIには入り込めない、入ってきてもらいたくない聖域なのではないでしょうか。

「困った事があつたら、風に向かつて南無阿弥陀仏とお念仏をお称えしましょう」

大保恵(おぼえ)日記について

信楽寺境内入って山門向かって左手に瀧川家の墓地があります。

そもそもこの瀧川家は織田信長の家来、四天王の一人である瀧川一益の末裔であります。武士から商人となり、薬用人参、ハゼの実から和蠟燭、綿などをあつかう、松江藩の御用商人となります。その屋号新屋(あたらしや)に務める太助(たすけ)が、今から200年前、29年間書き留めたのが、大保恵(おぼえ)日記であります。

この度松江歴史館に於いて、7/17〜9/23まで企画展「松江の商人太助の日常」展が開催されます。関心がある方は招待券がありますので、是非お出かけいただきたいと思えます。



写真で振り返る令和8年前半行事



3月20日春彼岸法要の前に新たに増設した永代供養塔のお勤めをさせていただきました。



春彼岸法要の後朗読会をしていただきました。



6月18日寺町誓願寺に於いて修養別時念仏会があり、副住職が法話デビューしました。



4月5日墓地清掃の後桜の木の下で集合写真を撮りました。

父の思い出



一月の末に父が永眠しました。昨年末から体調が悪くなり、年が明けて入院となりました。検査だけで帰るつもりだったようですが、検査の間に食べたり飲んだりができなくなり、一気に衰弱してしまいました。体調が悪く期間が長引かなかったのはよかったかもしれないのですが、覚悟ができる前に父との別れを訪れてしまいました。この原稿を書いている今日も、まだ父が庭の方から声をかけてくれそうな気がします。

父は子どもとの接し方が上手だったように思います。小学校の教員としてたくさんの子どもと接し、子どもたちがのびのびと育つのをるのが好きだったのだらうと思います。子どもたちもそういう父に心を開くのでしょう。一方で、ダメなことはダメと伝えることも大事にしていたようで、小学校でサッカー部の顧問をしていたときに、子どもたちの練習に向き合う姿勢

が悪く、しばらく部活動の練習を休みにしたこともあったようです。

自分が大学進学で家を離れ、父が退職してからUターンしたため、父の仕事ぶりをあまり知らなかったのですが、弔問に来ていただいた方々からお話をうかがうと、同僚の方や部下の方を信じて任せ、責任は自分があるとという、なかなかできないことをさらつとやっていたようで、改めて父の大きさを感ずることとなりました。

自分の進路選択や仕事について父から何か言われたことはありませんが、父も祖父も教員でしたので、私が教員になることを望んでいたところもあったかもしれません。甥が教員になったり、孫が教員を目指すという聞き慣れた時、父は本心にうれしそうでした。教員は、日々、子供と接し、その子の将来に大きな影響を与える大変な仕事だと思っています。直接聞いたことはあ

りませんが、父はその重さを受け止めて、人を育てていたのではないかと思います。

父と私との共通項としては、父の影響で始めたテニスがあります。父は昨年の十二月まで元気にプレーしていましたので、もっと一緒にやっておけばよかったと思います。直接教えてもらったり、一緒にプレーしたりすることは、覚えていた限りではそんなに多くはありませんが、高校生の頃は、テニスの技

術などで困ったら父に相談することができました。アドバイスはさりげなくという、理想的なコーチングを受けていたかもしれません。私は口を出しすぎてしましますので、父のやり方を見習わなくてはと思います。

父がいない日々が始まりましたが、どこかで見守っていてくれる気がします。これからも父の姿を思い浮かべながら暮らしていこうと思います。



(写真は孫の七五三で集まったときのものです。前列中央が父です。)

曾祖父とドラマ「ばけばけ」の 主人公小泉八雲について

江角久美子



私は小泉八雲の目の治療を施した医者であり、その子孫である西川自省の長男の孫であり、自省から見たらひ孫です。

最近放送されたドラマ「ばけばけ」を観て、ふと曾祖父のことを思い出しました。彼がこの時代に生きていたこと、そしてその影響を今でも感じられることに感謝の念を抱いています。

しかし、ドラマを見終わった後、心の中に残念な気持ちが生れました。曾祖父が劇中に出ていないことが、どこか寂しく思わせたのです。あの時代を背景にしている作品だからこそ、彼の存在が描かれていれば、

もっと多くの人々に彼の心意気が伝わったのではないのでしょうか。

私にとって、西川自省は単なる曾祖父ではなく、家族の歴史や日本の文化を紐解く鍵でもあります。彼は明治時代に生まれ、多くの人々が目の病に苦しんでいた時代に、眼科医としての道を歩みました。自省は患者の目を治療するだけでなく、彼らの心にも寄り添う医者であったと聞いています。当時旅館で働いていた女中の治療費は当初ハーンが捻出すると言っていました。ハーンの意思に感動し、結局



庭石にいる曾祖父

女中の治療費は受け取らなかったとセツさんの日記に記されています。

※出典「語りつぐ松江物語」より

彼の医療に対する情熱と献身は、地域の人々に深く根付いていて、多くの人々から慕われていました。医院の建物は、松江市殿町にありました。当時としてはかなり大きな建物で手術室まで備えていたと聞いています。

また、曾祖父は菩提寺である信楽寺とは異なる寺（萬壽寺）に埋葬されていました。※今は墓じまいをしてありませんが、写真のように大きな自然石の墓でした。

実は曾祖父は風流人としての面を持ち、漢詩を詠んでおり、号は潜斎と名乗っておりました。漢詩を通じて懇意にしていた萬壽寺の住職に死後の埋葬場所としてお願いしていた

のでしょう。



萬壽寺にあった西川自省墓石

彼が残したものを確認したいと考えています。皆様もぜひ、ご自身の御先祖様を思い起こし、彼らの足跡を辿ってみてはいかがでしょうか。

私たちはこの世で受け継いでいるもの、そして彼らの思いがあります。共に、心の中で生き続ける彼らに感謝し、日々を大切に過ごしていけたらと思います。

令和7年度 信楽寺維持費会計

(自 令和7年4月1日～至 令和8年3月31日)

収入の部

単位 (円)

	令和7年度予算	令和7年度決算	令和8年度予算	備 考
維持費収入	3,350,000	3,277,000	3,200,000	
繰越金	279,112	279,002	261,266	
合 計	3,629,112	3,556,002	3,461,266	

支出の部

単位 (円)

	令和7年度予算	令和7年度決算	令和8年度予算	備 考
課金(宗費他)	750,000	676,000	700,000	浄土宗宗費・組費など
法要行事費	400,000	501,183	530,000	盆施餓鬼・十夜法要・春秋彼岸法要
教化布教費	100,000	152,021	170,000	書籍購入費・浄土宗新聞代・写経用紙
会議費	50,000	10,336	20,000	総代会・世話人会
つきかけ印刷代	220,000	213,400	220,000	年2回印刷代
租税公課	7,400	7,400	7,400	固定資産税
火災保険	360,000	188,250	200,000	本堂・庫裡・山門・聖徳太子堂・消防設備点検
庶務費	320,000	292,264	300,000	コピー機、AEDのリース料
通信費	450,000	400,071	400,000	つきかけ発送代
助成費	30,000	20,000	20,000	詠唱会へ
税理士報酬代	160,000	156,832	160,000	
水道光熱費	330,000	300,000	330,000	
雑費	430,000	376,979	400,000	松、樹木剪定代、盆前・年末大掃除お手伝い賄費他
予備費	21,712	0	3,866	
合 計	3,629,112	3,294,736	3,461,266	

 $3,556,002 - 3,294,736 = 261,266$ (次年度繰越)

会計監査 令和8年6月21日

決算書類を監査し適正に処理されていることを認めます。

森 田 豊 印

吉 岡 利 夫 印

※悪用防止のため、認印を省略しています。

令和8年度年会費納入のお願い

令和8年度年会費未納のお宅は早めに納入頂きますようお願い申し上げます。



令和7年度寄付金総額 一金 260,000円

年回法事の寄付として頂いた総額です。

この寄付金は次の様に使わせて頂きました。

・知恩院開宗850年慶讃法要の寄付金 ・扇風機、クリーナー購入

追善寄付

為 本人生前戒名 金一封 施主 陶山 薫
 為 母追善 金一封 施主 大森 敬治
 為 父追善 金一封 施主 秦 智之
 為 父追善 金一封 施主 西村 豊
 為 母追善 金一封 施主 角野 哲郎
 為 妻一周忌追善 金一封 施主 西川 省造

為 父追善 金一封 施主 内田 司
 為 次男一周忌追善 金一封 施主 宅和 春雄
 為 叔母追善 金一封 施主 尾川 郁子
 為 母追善 金一封 施主 岩坂 透
 為 本人生前戒名 金一封 施主 茂居理智子
 為 叔母追善 金一封 施主 金井 寿彦

寄贈図書

著者ご本人寄贈

桜を愛する島根町

歴史こぼれ話

松江市歴史叢書19

施主 宍道 正年

施主 松江市

著者ご本人寄贈

句集 俱 会

施主 村上 美妙

柳 壇

1月

・元旦は家族の会話弾む朝
 ・新しい暦飾りて夢実行
 ・南天の実の数ほど福よこい

2月

・冬五輪競技出だし好調金メダル
 ・トランプの無茶な発言民意無視
 ・雪がやみ寒さやわらぎ春を知る

3月

・春が来た旅行のチラシ多くなり
 ・年度末道路工事のそそかしこ
 ・安青錦初優勝獲得大関へ

4月

・屋根たたく音やわらかし春の雨
 ・トラクター地鳴りの音春日覚め
 ・水を張りカエルの歌が田にひびく
 ・石油船舶ホルムズ海峡封鎖され

5月

・子の成長願って泳ぐ鯉のぼり
 ・冬眠さめ目撃相次ぐ熊被害
 ・日本語があるのに横文字ひけらかし
 ・*一日一生を生きる

・朝ドラを時計がわりの生活圏

・政治家を叱る茶の間の評論家
 ・新聞を電気代節約外で読む

・正解は一つではないそれでいい
 ・円高でぶれるメリットデメリット

・*老夫婦生活

・物忘れことの終わりで思い出す
 ・腹立てず口つつしめば平和なり

・あんな時があったと言える時がくる
 ・病院でうれしい誤算告げられる

・健康法食う寝る運動三原則

・小倉俊城

・歌壇、俳壇、柳壇、投稿お待ちしてい

お盆のおつとめ

(棚経)について

たなきょう

今年の棚経は本「つきかげ」に同封するお参り一覧表の通り予定していますが、左記の三日間は本堂内にて、順次お盆のお勤めも行います。予定表の都合がつかない方は、また県外で帰郷出来ない方は、ご一報下さい。本堂内にてお勤め致しますので、申込み下さい。

・8月2日(日)

墓地一斉清掃後
午前8時～10時まで

・8月4日(火)

盆施餓鬼法要後
順次勤めます

・8月9日(日)

午前9時～正午まで



8月16日(日)

灯籠流し

松江仏教会主催

今年から1霊につき

1,000円

となります。

いつでも承ります。
申し込み下さい。

令和8年 行事報告・予定

行 事	期 日	時 間	場 所	備 考
しゅう しょう え (初 参 り)	正月三ヶ日 本堂へ初参り	大晦日から元旦に かけおつとめしました。	当山本堂	
新 年 会	中 止		当山本堂	
ね はん え 涅槃 会	2月中		当山本堂	2月15日はお釈迦様がご入滅なさいました涅槃の日です。2月一杯本堂に涅槃図をおまつりしました。
令和8年初めての 早 朝 墓 地 清 掃	3月15日(日)	午前7時からおつとめ 午前7時半から清掃	当山本堂	春彼岸を迎える直前の日曜日に行いました。まだ肌寒さ残る中でしたが、今年最初の墓地清掃をいたしました。
春 彼 岸 法 要・ 永代供養増設開眼供養	3月20日(金) 春分の日	午後1時半より	当山本堂	表紙に写真を載せました、永代供養塔増設の開眼供養を、春彼岸法要の前に行いました。彼岸法要後本堂内でSUN readingさんに朗読をして頂きました。非日常の魅惑な世界を過ごしました。
聖 徳 太 子 祭 り	7月22日(水) ～23日(木)		聖徳太子堂	22日は午後5時よりおつとめをいたします。修繕された聖徳太子堂に是非お参りください。
墓 地 一 斉 清 掃	8月2日(日)	午前6時おつとめ 午前6時半墓地清掃	信楽寺墓地 松尾町墓地	お盆前の一斉清掃です。綺麗な墓地にご先祖様をお迎えしましょう。
盆 施 餓 鬼 法 要	8月4日(火)	午前10時	当山本堂	初盆を迎える仏様を皆さんでご回向致しましょう。表紙にご案内をしています。
棚 経	8月1日(土) ～15日(土)			皆さんのお宅にお参り致します。次号つきかけ発送にお参りの順番を同封し、ご案内申し上げます。
大 橋 川 灯 籠 流 し (松江仏教会主催)	8月16日(日)	午後7時より	穴道湖湖畔	お盆に還って来られたご先祖様を極楽へお送りする為の灯籠流しです。今年から1霊1000円となりました。
地 蔵 盆 お つ と め	8月23日(日) ・24日(月)		豎町灘側 地藏尊	
秋 彼 岸 供 養・ 永代供養法要	9月23日(水) 秋分の日	午前10時より	当山本堂	永代供養のお勤めをします。午後からの法要に来られない方など、どうぞお参り下さい。
		午後1時半より	当山本堂	例年通り秋の彼岸法要と永代供養を兼ねて勤めます。お勤め終了後、午後3時頃より映画会を行います。北海道東川町が制作する「カムイのうた」と言う長編映画です。山陰中央新報にも紹介される神 英雄先生のご縁で上映の機会を得ました。どうぞ気軽にお参り下さい。
おてつぎ信行奉仕団 (本 山 参 拜)	中 止		総本山 知恩院	是非来年は実現したいと思います。
十 夜 法 要	11月3日(火) 文化の日	午前9時半より受付 10時よりおつとめ	当山本堂	後日、塔婆の申込みを往復ハガキにて、直接ご案内致します。
出雲教区詠唱大会	未 定	午後より		年に1度の詠唱の大会です。現在人数は少ないのですが、いつでも新入会員をお待ちしております。
今年最後の墓地清掃・ じょう ほん え 浄 焚 会	12月5日(土)	午前7時	本堂正面	浄焚会とは、捨てるに捨てられず困っているお守り・お札・お仏壇の道具類の魂を抜いて供養するおつとめです。お気軽にご相談下さい。

基本的にどの行事にもお参り頂きたく思っております。どうぞご予定にお組み入れ下さい。

定例行事ご案内

ご詠歌の練習



毎月1回土曜日に行います
午後1時半より
随時新会員募集中



墓地清掃

毎月第1日曜日早朝
1・2月はお休みします。

写経会・写仏会

毎月22日 午後1時半より
写仏も出来ます、字の綺麗さには
こだわりません。千円の参加費が
必要です、皆様お待ちしております。

いずれの会も随時参加・見学歓迎しております。詳しくは本堂前の看板にて月行事ご確認下さい。